

よいことの
ために
手を取りあおう

- ◆国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ(イタリア・ラゲザRC)
- ◆第2660地区ガバナー 吉川 健之(大阪北RC)
- ◆クラブテーマ 「こっから、おもしろくなるよ!」

本日例会 2025年12月11日(木)第1018回

2025～2026年度
「年次総会」

議長：水谷 武志 会長

前回例会 2025年12月 4日(木)第1017回

1. 開会
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング「奉仕の理想」
4. 四つのテスト唱和
5. 誕生日のお祝い 藤井俊章会員
6. ニコニコ箱紹介(小計5,000円 累計125,000円)
江端会員 長野さん、卓話楽しみです。
長野会員 卓話よろしくお願ひします。
7. 会食
8. 委員会報告
 - ①11/24(月・祝)3クラブ合同コンペ開催報告
福田担当会員
 - ②12/18(木)クリスマス家族例会開催案内
中道クラブ運営委員長
9. 幹事報告
 - 定例理事会報告
 1. クリスマス家族例会開催の件(承認)
催しについて協議
 2. 守口門真商工会議所「新年互礼会」案内の件
水谷会長出席で承認
 3. 2026年米山奨学生受入れ意向調査の件
受入れ希望で回答することで承認
 4. 1月新春例会の件
親睦食事は「麗華」で開催することで承認
 5. 会員退会の件(承認)
大島会員(12月末付)
 6. 一般会計不足分をニコニコ預金から借入する件(承認)
 - 11/29(土)地区大会オンライン出席者は事務局までお申し出ください。
 - 12/11(木)年次総会開催案内

10. 出席報告(会員総数15名)
12月 4日 出席8名 欠席7名 出席率53.33%
メイクアップ報告
10月16日 出席9名 欠席6名 出席率60.00%
(メイクアップ者1名)
 11. 会長の時間
 12. 本日のプログラム
担当：社会奉仕委員会
卓話：「自衛隊のレンジャー」
卓話者：長野 良雄 会員
 13. 閉会
- 例会前の会合 定例理事会

会長の時間

11月14日に開催された大輪ゴルフ会で、優勝することができました。同スコアで2名いたのですが、もうお一人が主催側ということで辞退され、私が優勝となりましたのでご報告します。

今は一つ一つの言葉を選ぶ時代になってきていると感じています。先日、従業員がミスをしたことに対し、同業者からきつめの注意がありました。経験者からすると、たいしたミスではなかったのに「よくある話だからたいしたことはないよ」と言ったところ「たいしたことはないかどうかは私が決める」と言われ、慰めにもならず、逆に火をつけた感じになってしまいました。本当に言葉は難しいと思いますが、楽しいことや喜ぶことを言うことが盛り上がるということも言葉の力だと思いますし、日頃の言葉によって場の空気が盛り上がりやすさも大切です、自分の通常の声より2トーン上げて話すと、相手にとって心地よい聞こえ方になるそうです。



次回例会 2025年12月18日(木)第1019回



クリスマス
家族例会



卓話 「自衛隊のレンジャー」

長野 良雄 会員

自衛隊のレンジャーは、日本の自衛隊内で最も厳しい訓練を受ける特殊部隊の一つとして知られ、高度な知識を持ち、多様な任務を遂行することが求められます。陸上自衛隊におけるレンジャーは、陸上自衛官の付加特技の一つとして位置づけられ、所定の過程教育を終了することでレンジャー徽章を着用できるようになります。

陸上自衛隊では、レンジャー養成の目的を「挺進行動の能力を付与するため、天候、気象に関わらず、長距離かつ数昼夜に渡り諸種の悪条件を克服して任務達成すること」としています。レンジャー隊員は、16万人を擁する陸上自衛隊の中でも8%、特に厳しい教育課程を終了した精鋭中の精鋭として知られ、レンジャー部隊は、空挺レンジャー、富士学校幹部レンジャー、アルペンレンジャー、冬季レンジャーの4つのみです。



習志野第一空挺団（レンジャー）は、創設時に旧日本陸軍の落下傘兵たちが中心的役割を果たしたとされ、かつて「空の神兵」と言われた陸軍空挺部隊の事実上の後継にあたります。日本唯一のパラシュート専門部隊であり、作戦初期において空港などの重要拠点を強襲、確保する重責を担い、世界各国でもエリート扱いになります。これは自衛隊も例外ではありません。空挺部隊はパラシュート降下のイメージが強いものの、実際は作戦によって展開方法は変わり、ヘリを活用した「ヘリボン作戦」も多様されます。



空挺団の標語である「精鋭無比」が示すように、特に優秀な者だけを集めたエリート部隊を自負しており、特殊部隊である「特殊作戦群」、そして日本版海兵隊「水陸機動団」が創設されるまでは陸自最強と言われていました。そして、この第一空挺団の役割は大規模な空挺降下によって敵を奇襲、撃退して、後続部隊のための橋頭保（きょうとうほ）を築くことです。他よりも過酷な訓練を行い、実戦では生存性の低い状況に置かれることから、空挺隊員は強靱な身体能力と優れた技量、メンタル面でも折れないタフさが必要です。



したがって所属隊員のほとんどは、山でのサバイバル生活と究極の精神状態を耐え抜いた「レンジャー隊員」であり、私生活でもひたすら筋トレをしたり、格闘技を行う者が多く、このような精強さから他部隊からは「第一狂ってる団」と呼ばれています。強い部隊とは統制がとれた部隊であり、当たり前前の事を当たり前前に出来る事だと思います。

